

いしがさんじょうちよすいいけ  
石ヶ山丈貯水池



現在の石ヶ山丈貯水池

先人の力強さを語る  
水環境に優しいシステム

いしがさんじょうちよすいいけ  
石ヶ山丈貯水池は、端出場水  
力発電所の発電用の水を貯水しておくための施設で、明  
治45年(1912)5月、発電所と同時に建設されました。

発電に利用する水は、別子山地区の銅山川とその支流  
である七番川などの水を日浦に集め、これを日浦通洞～  
第三通洞の坑内を經由して石ヶ山丈の貯水池まで導きま  
した。



遠く四阪島を望める

そして、落差596メートルといった当時東洋一の落差を利用して  
発電が行われました。

落差がある分、河川から取水量が少なくすみ、今日的に見ると水  
環境にやさしい発電所といえます。



水量調節を行った水門



今もそのままの姿で残る  
レンガ造りの水路

